

## 感染症情報 7月10日～16日

府下小児科200療機関(堺市19)から

|            |                |
|------------|----------------|
| ①手足口病      | 2874例(堺市 194例) |
| ②感染性胃腸炎    | 1064例(堺市 43例)  |
| ③ヘルパンギーナ   | 480例(堺市 41例)   |
| ④溶連菌感染症    | 478例(堺市 33例)   |
| ⑤RSウイルス感染症 | 141例(堺市 2例)    |

府下インフルエンザ定点307医療機関(堺市29)から

|         |            |
|---------|------------|
| インフルエンザ | 21例(堺市 4例) |
|---------|------------|

が報告された。

感染症報告数は前週から14.9%増の5,522件であった。報告の第1位は先週に引き続き、手足口病で以下、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、溶連菌感染症、RSウイルス感染症の順であった。

1位の手足口病は府下で前週比31%増、堺市では前週比37%増であった。定点当たりの報告数は前週11→今回14.4でさらに増加していた。2位の感染性胃腸炎は府下で前週比7%減、堺市で35%減であった。ヘルパンギーナが府下で前週比56%増、堺市で32%増であった。溶連菌感染症は府下では前週から18%減、堺市では43%減であった。第5位にRSウイルス感染症が入ってきた。府下で前週60例→141例で135%増であった。堺市では前週2例→今回2例であった。

インフルエンザは府下では前週11例まで減っていたが、今回21例に再び増えた。堺市でも前週2例→今回4例であった。

麻疹の報告はなかったが、風疹の報告が2件あった。